



## Press Information

VPR06-006

2006年1月17日(火)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

### フォルクスワーゲン、ダカールラリーでジニエル ドゥ ヴィリエールが 2 位に入賞

ウォルフスブルグ、2006年1月15日

フォルクスワーゲンは、ジニエル ドゥ ヴィリエール(南アフリカ) / ティナ ターナー(スウェーデン)組が過酷な2006年ダカールラリーで2位に入賞したことにより、「自己記録」を更新しました。これにより砂漠を走破する、この有名なラリーの28年にわたる歴史上、はじめてディーゼル車(275PSのTDIエンジンを搭載した新しいレーストゥアLEG 2)が2位入賞を果たしました。今年のフォルクスワーゲンのワークスチームは、第一世代のレーストゥアLEGがディーゼル車初の表彰台を獲得した昨年よりも順位を1つ上げました。5回のステージ優勝、3回の2位タイム、8回の3位タイム、計5日にわたる首位走行、うち2日はトップ3独占というすばらしい成績をおさめたフォルクスワーゲン チームは、昨年に比べて個人成績も向上しました。マーク ミラー / デイルク フォン ツィツェヴィッツ(米 / 独)組は5位、ブルーノ サビー / ミッシェル ペラン(仏 / 仏)組は8位、カルロス サイツ / アンディ シュルツ(西 / 独)組は11位に入賞しました。ユタ クラインシュミット / ファブリツィア ポンス(独 / 伊)組は、残念ながらアクシデントによりリタイアしています。

「きわめて厳しく、速く、エキサイティングであった今年のダカールラリーにおいて、フォルクスワーゲンが総合2位に入ることができたことはもちろん喜ばしく、ジニエル ドゥ ヴィリエールとティナ ターナーには感謝しています」と、フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクターであるクリス ニッセンは述べています。「しかし、優勝できなかったのは残念です。優勝こそ、私たちの目標でしたから。優勝できる機会もポテンシャルもあったのですが、それは他のチームにさらわれてしまいました。三菱自動車と、リュック アルファンとジル ピカールには、優勝のお祝いを申し上げます。」

2003年夏からフォルクスワーゲン ブランドのモータースポーツ活動を統括しているクリス ニッセンはさらに続けて次のように述べています。「とはいえ、昨年に比較すれば私たちの出した結果は進歩です。ステージ優勝は5回にのびりました。総合では、2位、5位、8位、そして11位に入賞しています。ディーゼル車の成績としては、ダカールラリー史上最高のもので、ドイツのメーカーとしては、ポルシェが1986年に優勝して以来ベストの成績です。エンジニアリング、チーム、ロジスティクスのあらゆる面で、私たちは大きな進歩をとげました。優勝の常連である三菱自動車チームにも、大きなプレッシャーを与えることができたと思っています。総括すると、フォルクスワーゲンはほとんどすべての分野において、他の強豪に匹敵する能力を持つようになりましたが、1つか2つの分野では、さらなる改善の余地があります。レース トゥアLEG 2は、とくに深く柔らかな砂を走行することを想定したファインチューニングを施す必要があるでしょう。今年は、そこで大きくタイムロスしたからです。」

ダカールラリー参戦はまだ4回目のジニエル ドゥ ヴィリエールは、6日目に総合首位に立った後も、15ステージ中の第8ステージ以降はコンスタントにトップ3の位置をキープしていました。難しい第12ステージでは、ダカールラリー8回の優勝を誇るステファン ペテランセルのミスに乗じて、33歳のドゥ ヴィリエールが2位に浮上。つねに集中力を失わないドゥ ヴィリエールと、わずか9ヶ月前にコドライバー契約を結んだスウェーデン人のティナ ターナーは、最悪の路面状況をものともせずマラソンステージもこなし、ゴールに向けてのラストスパートでは、優勝者のリュック アルファンに17分差と迫りました。

フォルクスワーゲン チームの中で 2 番目の成績を収めたのは、アメリカ人のマーク ミラーとドイツ人コドライバーのディルク フォン ツィツェヴィッツ組でした。ミラーは、フォルクスワーゲン車を駆ってラリーに参戦するのはまだ 2 回目、ダカールラリーは 3 回目という新人ですが、決意に溢れた速い走りで多くのライバルを驚かせました。彼はステージタイムのトップ 3 を 3 回記録し、全イベント中 2 番目に長い 8 日目のステージでは、ステファン ペテランセルとまったく同じタイムを叩き出しています。これは、アリゾナ州出身のミラーが持つ才能を物語るものでしょう。しかし、第 7 ステージで 2 度横転したことが響き、この米独コンビはそれ以上順位を上げることができませんでした。

ブルーノ サビーとミッシェル ペラン組は、順位が物語るよりもずっと良い走りをしていました。昨年のクロスカントリー ラリー世界選手権で優勝経験のある 2 人は、第 6 ステージ終了段階で、首位からわずか 3 分 57 秒差の 6 位につけていましたが、燃料供給ラインが緩んでいたため、7 時間近くのロスを被ってしまいました。しかし、ダカールラリー優勝の経験あるこの 2 人は、わずか 4 ステージで総合 22 位から 8 位まで追い上げ、フィニッシュしたのです。

カルロス サインツとアンディ シュルツ組はスタートでレースをリードしました。クラシック スプリント ラリーにおいて 26 勝を収め、記録保持者となっているサインツは、クロスカントリー ラリーに移行したデビュー戦がダカールラリーとなりましたが、彼は才能をいかに発揮しました。4 回のステージ優勝、そして最初の 5 日のうち 4 日で首位を走行していたことが、この西ノ独コンビの力を物語っています。深い砂にスタックして脱出した結果、翌日の第 8 ステージでクラッチトラブルに見舞われたことが大きく響き、2 度の世界ラリーチャンピオンとなったサインツにとっては絶望的な、首位から 8 時間遅れの 16 位まで順位が落ちました。しかし、このコンビはフィニッシュでは 11 位まで順位を上げてきました。

ユタ クラインシュミット / ファブリツィア ポンスは、第 11 ステージの事故で車両を大破させリタイアしました。5 位で走行中だったこのドイツとイタリアの女性コンビは、ポットホールにはまってコースアウトした際、切り株に衝突してしまい、レース トゥアレグの右側フロント サスペンションに現場では修理不能なダメージを負ってしまいました。その結果、すばらしい記録が途絶えてしまいました。それまで、ユタ クラインシュミットとファブリツィア ポンスは、フォルクスワーゲン車をつねに完走させていたのです。

順位	チーム	車両	総合タイム
1	リュック アルファン / ジル ピカール (フランス/フランス)	三菱パジェロ エボリューション	53:47:32 hrs.
2	ジニエル ドゥ ヴィリエール / ティナ ターナー (南ア/スウェーデン)	フォルクスワーゲン レース トゥアレグ 2	+ 17:53 min.
3	ナニ ロマ / アンリ マーニュ (スペイン/フランス)	三菱パジェロ エボリューション	+ 1:50:38 hrs.
4	ステファン ペテランセル / ジャン-ピエ-ル コットレット (フランス/フランス)	三菱パジェロ エボリューション	+ 3:20:24 hrs.
5	マーク ミラー / ディルク フォン ツィツェヴィッツ(米国/ドイツ)	フォルクスワーゲン レース トゥアレグ 2	+ 3:23:25 hrs.
6	ジャン-ルイ シュレッサー / フランソワ ボルソット (フランス/フランス)	シュレッサー フォード	+ 4:09:23 hrs.
7	カルロス スーサ / ジャン-マリー ルルカン (ポルトガル/ベルギー)	日産ピックアップ	+ 5:40:11 hrs.
8	ブルーノ サビー / ミッシェル ペラン (フランス/フランス)	フォルクスワーゲン レース トゥアレグ 2	+ 8:14:45 hrs.
9	ゲルラン シシェリ / マシュー ボメル (フランス/フランス)	BMW X3	+ 8:25:13 hrs.
10	ティエリ マンヤルディ / アルノー ダブロン (フランス/フランス)	シュレッサー フォード	+ 8:25:57 hrs.
11	カルロス サインツ / アンディ シュルツ (スペイン/ドイツ)	フォルクスワーゲン レース トゥアレグ 2	+ 10:03:46 hrs.

フォルクスワーゲンのダカールラリー参戦のウェブサイト: [www.volkswagen-motorsport.com](http://www.volkswagen-motorsport.com)

文書や写真、音声のダウンロードは: [www.volkswagen-motorsport.info](http://www.volkswagen-motorsport.info)

または、V G J プレスクラブ: [www.volkswagen-press.jp](http://www.volkswagen-press.jp)